

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

## 平成 23 年度事業報告

(平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日)

### 年間の活動のまとめ

3.11 の東日本大震災の発生から杜の伝言板ゆるる（以下、ゆるる）は、被災した NPO の復旧、復興へ向けての支援に力を入れた。連休後に、被災地の NPO を訪問し、その被害状況と再建計画などをヒアリングしたが、大きな被害を受けた NPO 法人にとって、精神的なダメージは深く、自らの活動の再建へと動き出したのは、夏になってからだった。ゆるるは、7 月には自力での再建が難しい NPO に資金を繋ぐための web サイト「復興みやぎ」を立ち上げ、宮城県や首都圏の助成団体に情報を提供し、この 1 年で、4000 万円を超える資金を繋いだ。この取り組みが始まった 6 月 7 月に、被災地へのヒアリングや情報発信に、遠く、ひろしま NPO センターやふくおか NPO センターからスタッフの応援があり、日頃のネットワークが生かされた。

一方、平成 23 年 6 月には、NPO 法人にとってかなり大きな法改正があった。一つは、特定非営利活動促進法である。その中には、NPO 法人の会計報告が「収支計算書」から「活動計算書」に改正になったことや、これまで国税庁の所轄だった認定 NPO 法人の認定業務が、この法に新たに盛り込まれた。この 3 月に発表された内閣府の手引書には、しっかり NPO 法人会計基準の多くが記載され、これまでゆるるが取り組んできた NPO 法人会計基準の普及を早急に取り組むこととなった。

NPO に対しての講座や会計士及び税理士に対してのセミナーを開催する際は、県域で活動してきたゆるるのネットワークが有効に働き、多くの参加を得ることができた。

また、みやぎ NPO プラザが平成 13 年 4 月の開館以来、交流を続けてきた登米市は、昨年 11 月、登米市中間支援組織検討委員会が提言をまとめ、次年度に施行される登米市まちづくり条例に基づき、市民活動を支援する施設を検討することになった。しかし、担う組織が無いという話を聞き、登米市に根付く市民活動支援組織を作ることを提案し、その後、新しい公共支援モデル事業として採択され、地域の NPO 支援施設をゆるるが担うのではなく、その地域の団体を育成して地元の団体が担っていくという、ゆるるの方針を示すことができた。

平成 24 年の 2 月、3 月は、上記の事業のほか、全国へ向けての被災地 NPO の復興活動を紹介する情報発信事業が、県からの委託事業として実施することになった。これを実施するには、これまで友好関係を作ってきた各地の NPO 支援センターの協力なしには実施が難しかった。

### ■平成 23 年度重点目標に対する対応

#### 1. 被災 NPO 復興支援室を中心に、被災地で活動する NPO の復興活動を支援する。

4 月に調査した被災地の高齢者及び障がい者支援事業者の NPO の被災状況は、回答を寄せた 51 団体中 32 団体に被害があり、内 14 団体が大きく損壊していた。その支援として、被災団体に

直接寄付が届く、寄付サイト「復興みやぎ」を7月に立ち上げ、助成団体と多くの資金を繋いだ。この間、定期的に被災NPOを訪問し、その近況を「復興みやぎ」で発信したほか、月刊ゆるるや各地の報告会で、その現状を伝えた。

また、県に被災地の各地で、NPOに助成金や法改正の情報提供やそれぞれが抱える悩みへの専門相談をする事業を提案し、新しい公共支援事業として実施した。

全国へ向けて、被災したNPOの活動を紹介したほか、震災時の市民が撮った写真のパネルを作成した20世紀アーカイブ仙台と連携し、報告会とともに写真展を実施した。

## 2. NPO法人会計基準の普及と情報公開に最大限努力する。

平成24年4月1日から施行された特定非営利活動促進法の中で、「収支計算書」から「活動計算書」になったことから、NPO法人会計基準の講座を2月、3月に、3月の決算期を迎えるNPOや次年度に向けて切り替えるNPO法人に対して実施したほか、会計士や税理士などの専門家に向けてNPO法人会計基準の理解セミナーを開催し、普及に取り組んだ。

活動で協力や連携をする団体に対し、ホームページやブログで公開するよう働きかけた。

## 3. 会員の拡大を図り、寄付の呼びかけを強化する。

正会員	36団体・個人	⇒	46団体・個人
賛助会員	20団体・個人	⇒	29団体・個人
情報会員	77団体・個人	⇒	71団体・個人

(平成24年5月31日現在)

上記の通り、震災後、支援を継続して行っていた団体が会員となり多少ではあるが会員の拡大が図れた。次年度も継続して会員の拡大に向け取り組むことが求められる。寄付については、東日本大震災の影響もあり、前年度より大幅にアップしたが、継続した寄付を受けられるよう取り組みを行う必要がある。

## 活動に関する事項

### 1. 情報収集と提供

#### (1) 月刊社の伝言板ゆるる発行

東日本大震災後、赤い羽根中央共同募金会より助成金をいただき、復興支援活動を行っている地域の団体を紹介する特集「復興への道」を掲載。発行部数を 8,000 部から 10,000 部に増やし、被災地域や県外への配布先を拡大し、情報を発信した。これにより、地域のボランティア活動・NPO・市民活動団体への広報の場や、助成金情報を定期的に提供することができた。

発行形態	A4 版 16 ページ 10,000 部 毎月 1 日発行 毎月月末発送
配布先	約 470 か所
ページレイアウト	伊藤郁恵、堀江恵理子、結城美穂
協賛広告	東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ

#### 【掲載内容】

	特 集	掲載数	
		info	助成金
6 月 号	復興への道 ・被災しても元気です! NPO 法人夢みの里 (石巻) ・高齢者ケアの NPO NPO 法人どんぐりの家 (登米)、 NPO 法人さくらんぼくらぶ (登米) ・被災地にお茶わんを贈ろう! NPO 法人 Azuma-re (栗原) ・遊びから心のケアを NPO 法人冒険遊び場-せんだい・みやぎネットワーク (青葉区)	27	5
7 月 号	復興への道 美しい景色を取り戻す為に NPO 法人創る村 活動再開に向けて NPO 法人のんびりすみちゃんの家 東松島市民を支えるボランティア活動 東松島市災害ボランティアセンター 津波に耐えたハマボウフ 名取ハマボウフの会 野菜づくりで気分転換 NPO 法人里山ひろば	10	5
8 月 号	復興への道 利用者の笑顔を取り戻すために NPO 法人なごみ 大津波に飲み込まれたケアホームとイチゴハウス NPO 法人泉里会 地域活動支援センター-こころ・さをり 仮施設で、再スタート NPO 法人輝くなかまチャレンジド 地域住民のために活動を再開 NPO 法人住民互助福祉団体ささえ愛山元 山元町の復興のために活躍 山元町災害ボランティアセンター 浜の渚を取り戻そう! セツ浜再生プロジェクト	19	5
9 月 号	復興への道 待たされるデイサービス施設へ倒壊の危険に防災頭巾 NPO 法人みやぎ身体障害者サポートクラブ 中間支援組織として被災者を支援 NPO 法人おおさき地域創造研究会 被災 NPO に大きな支援 財団法人愛知揆一福祉振興会 復興への第一歩! 「菖蒲田浜・復興まつり」 セツ浜再生プロジェクト やることがある喜び NPO 法人みどり会 幸せを感じられる未来に向かって 復興支援 “EGAO (笑顔) せんだい” サポートステーション	22	5
10 月 号	復興への道 大震災から半年救援活動から生活支援へでもまだまだ 石巻災害復興支援協議会 被災した子どもたちにスポーツを NPO 法人石巻スポーツ振興サポートセンター 500人が菖蒲田浜で清掃 海に向かって黙祷 セツ浜再生プロジェクト 「つながりを信じて」多くの人々とのつながりに支えられた遺族の心のサポート NPO 法人 仙台グリーフケア研究会 職から始まる、つながり 亙理いちごっこ	26	9

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

11 月 号	復興への道 手を取り合って復興へ にじいろクレヨン 支援は「場所」ではなく「人」へ NPO 法人フェアトレード東北 芸術を通して子どもたちの心の復興を応援 塩釜子ども劇場 三つの拠点で地元へ根付いた活動を NPO 法人みやぎ災害救援ボランティアセンター 大切な人を守るために NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク 常に寄り添う気持ちを持って NPO 法人ホームひなたぼっこ	33	8
12 月 号	復興への道 主役は地元住民生きて活動することへの支援 生活支援プロジェクトK 3. 1 1 から動物たちに寄り添って NPO 法人アニマルクラブ石巻 お弁当が繋ぐ心 NPO 法人あかねグループ 名取地域の被災者支援をつづける 国際交流協会ともだち in 名取 ジオラマ制作で心のケア～3月10日の関上の町をもう一度～ NPO 法人地球のステージ 放送を通して情報と町民をつなぐ りんごラジオ	30	6
1 月 号	復興への道 合言葉は「やっぺす」 石巻復興支援ネットワーク 一歩前へ進むために 仙台傾聴の会 被災者に笑顔をもたらし花でコミュニケーション NPO 法人フラワーセラピー研究会 被災した子どもたちへの学習サポート NPO 法人アスイク 高齢者施設のネットワークでいち早く支援活動 NPO 法人みやぎ宅老連絡会 地元 NPO と協働で山元町の支援を続ける NPO 法人ほっとあい	29	6
2 月 号	復興への道 これからも海と共に生きる NPO 法人森は海の恋人 想いとニーズに寄り添う NPO 法人せんだい杜の子ども劇場 生きたフードバンク 独自の支援網 NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN 被災地の歴史資料を後世に残すために NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク 助けを求める障がい者に寄り添った支援を 被災地障がい者センターみやぎ 被災地の女性を励ましたい みやぎ女性復興支援ネットワーク	27	6
3 月 号	復興への道 「被災地で考える～要援護者支援の課題と展望～」 地域支え合い活動・情報交流センター 石巻の今に伝えたい NPO 法人いしのまき環境ネット 浦戸諸島でボランティア派遣と高齢者支援 NPO 法人浦戸福祉会 人と動物の共生をめざして NPO 法人エークューブ すべての子どもに遊びを！ 西公園プレーパークの会	31	6
4 月 号	復興への道 被災地に復興には NPO の活動がカギ全国へ向かって情報発信 NPO 法人杜の伝言板ゆるる 食を通じて幸せを NPO 法人ハッピート大崎 健康と自然環境を保全するために NPO 法人自然農食みやぎ 日頃の活動から「食べられない人々」の支援を NPO 法人仙台夜まわりグループ 海外からの支援をつなぐ NPO 法人宮城英語教育支援協会	31	5
5 月 号	復興への道 親をなくした子どもたちに学資支援を！ NPO 法人東日本大震災こども未来基金 震災孤児を長期で物心ともにサポート NPO 法人 J E T O みやぎ 笑顔と思い出を取り戻すために こどもとあゆむネットワーク 地域に密着したコミュニティ FM 放送局を目指し、本格稼働 NPO 法人おおさきエフエム放送 被災しながらも障がい者支援の新たな取り組みを NPO 法人泉里会 トピックス SAVE JAPAN プロジェクト in 宮城 みんなで守る水辺の自然	28	6
6 月 号	復興への道 高齢者向け配色サービスを通じて被災からの自立をめざす NPO ワタママスマイル 地元住民の声を活かしたまちづくり支援 NPO 法人故郷まちづくりナイン・タウン ニーズに合わせた支援をコーディネート 南三陸町災害ボランティアセンター 忘れないよう伝えようつながろう～震災記録誌を発行～ 泉区福祉ガイドブック作成委員会 パラソル喫茶で仮設住宅に笑顔を NPO 法人ナルク宮城けやきの会 トピックス NPO で高校生の夏ボラ体験 2012～10 回目の今年は～	29	7
		情報掲載件数総数	342 79

## 2. 情報支援・交流

### (1) 情報発送支援

#### ① 情報発送支援

NPOに情報発信の機会を提供するため、毎月発行する情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」といっしょに、協力や支援を頂いている団体から預かったチラシなどを同封し、情報発信の支援を行った。

発送月	団体名	チラシの内容	主催団体との関係		
23年	6月	東北労働金庫	平成23年「ろうきん地域貢献ファンド」	支援・協力団体	
	6月	明治大学大学非営利・公共経営研究所	第2回震災復興フォーラム 「多様な主体の連携による復興」 NPOの視点から見た被災地の実情	協力団体	
	7月	なし			
	8月	なし			
	9月	東北労働金庫	東北ろうきんNPOパートナーシップ2011		
		NPO法人せんだい杜の子ども劇場	ママ・パパライン仙台	正会員	
		NPO法人仙台シニアネットワーククラブ	セキュリティセミナー2011 in せんだい	正会員	
	10月	ICT支援NPOネットワーク宮城	パソコンで生活をもっと楽しく		
	11月	なし			
	12月	なし			
	24年	1月	NPO法人せんだい杜の子ども劇場	ママ・パパライン仙台	正会員
				みんなつながれ！杜の子まつり	
公益社団法人日本フィランソロフィー協会			企業とNPOの子育て支援協働推進セミナー	正会員	
2月		なし			
3月		社会貢献 かほく「108」クラブ	かほく「108」ファンド	賛助会員	
		NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター	みやぎNPO夢ファンド	正会員	
4月		なし			
5月		NPO法人東北・SOS子どもの村情報センター	フォーラム支えるネットワークと連携めざして		正会員

#### ② NPOに関する冊子類販売

書店では手に入りにくいNPOの運営や活動に関する専門誌などを販売し、情報提供と活動支援を行った。

冊子名	発行者（団体）	内容
NPO会計マニュアル	NPO法人 杜の伝言板ゆるる	簿記の知識も、経理の経験もない人が会計担当になったとき、「これだけは知っておきたい」NPO会計の基礎。
NPO会計基準完全収録	NPO法人会計基準協議会	NPO法人会計基準及びガイドライン、Q&Aを掲載。
知っておきたいNPOのこと「増補版」	NPO法人日本NPOセンター	「信頼されるNPOの7つの条件」と「基礎知識Q&A」などNPOを理解できる情報が満載。
知っておきたいNPOのこと「基礎編」	NPO法人日本NPOセンター	平成24年4月のNPO法改正に合わせて、これまでの「知っておきたいNPOのこと【増補版】」をリニューアル。タイトルも「基本編」に変更。 「信頼されるNPOの7つの条件」と、WebサイトNPO

		広場で公開中の「NPO 基礎知識Q&A」を再編集し、掲載。
知っておきたいNPOのこと「協働編」	NPO 法人日本NPOセンター	「行政と協働する NPO の姿勢」「NPO と協働する行政職員の姿勢」をそれぞれの視点から掲載。
NPO の会議、こうすればうまくいく	NPO 法人茨城NPOセンター コモンズ	効率的な会議を行うための準備からレイアウト、進行や事後管理まですぐに使えるアイデアを掲載。NPO に限らず、様々な会議の場でも役立つ。
NPO 法人 VS 新公益法人	NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度を作る会	NPO 法人と新公益法人、認定 NPO 法人を手続き、組織、税制面で徹底比較し、法人選択のポイントを教えている。
NPO のためのアドボカシー読本	NPO 法人 市民活動センター神戸	アドボカシー（市民からの政策提言、意見反映のための行政等への発言）の様々なかたちと、市民から働きかける方法とは何かを掲載。 最終章では Q&A 形式で記載し、提言までの戦略から実行に起こすまでをまとめている。
NPO/NGO のための CSR 入門	(社福)大阪ボランティア協会	「企業の社会的責任(CSR)」を知り、活動に役立ててほしいとの思いから、豊富な事例とともに Q&A 形式でわかりやすく解説。
かかわりのファシリテーション	NPO 法人茨城NPOセンター コモンズ	複数の人が集まる「場」において、集まった人々の「思い」や「考え」に、さまざまな働きかけを行う「ファシリテーション」。他者、組織、社会、自然といった様々な視点から、捉え掲載。

## (2) 交流

東日本大震災から 4 カ月が過ぎた時期に、その間の地元 NPO の取り組み、そしてどのように復興に向けて活動しているのかといった報告会を開催した。報告会后には、親睦交流会も行った。

### <報告会>

日時：平成 23 年 7 月 16 日(土) 15:45~17:15

会場：みやぎ NPO プラザ 第 1 会議室

報告団体：NPO 法人みやぎ宅老連絡会、NPO 法人せんだい杜の子ども劇場、NPO 法人 FORYOU にこにこの家、NPO 法人アフタースクールぱるけ、被災地障がい者センターみやぎ/NPO 法人麦の会

参加人数：

### <親睦会>

日時：平成 23 年 7 月 16 日(土) 17:30~19:30

場所：みやぎ NPO プラザ内 「オリーブの風」

参加費：2,000 円

## (3) 大震災で活動している地元NPOの情報発信事業（宮城県委託事業）

NPO の活動を広く発信することで、震災の風化を防ぐと共に、NPO への理解を深めることを目的とし、宮城県内 NPO の震災から現在までの活動報告会と写真展を関東・関西・九州で行っ

た。写真展は、市民が撮った震災写真をパネルにし展示した。また、県内の復興支援活動を行っている団体の情報を掲載した、ホームページ (<http://miyagi-fukkouing.jp/>) とフリーペーパー「復興 ing みやぎ with NPO」を作成し、全国へ地元 NPO の情報を発信した。各テレビ局や新聞社から取材があり、新聞 3 社の掲載を確認した。また、寄付の申し入れやイベントの協力依頼もあった。今後も継続して宮城県の NPO の情報発信を行うことで、震災の風化を防ぎ、継続的な後方支援も期待したい。

① 報告会・写真展

大阪、福岡、東京で現地団体から協力を得て開催した。そのため、各会場とも、準備期間が短い中でも場所や期間など良い環境で開催することが出来た。

<大阪会場>

開催日程 3月10日(土) 11:00~16:00、3月11日(日) 10:00~16:00  
 開催場所 大阪市北区大淀中一丁目1番88号梅田スカイビル敷地内  
 報告協力 NPO 法人住民互助福祉団体 ささえ愛山元 代表理事 中村怜子  
 協力 NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台

<福岡会場>

開催日程 3月18日(日) ~3月23日(金)  
 開催場所 福岡市中央区天神2丁目2-43 ソラリアプラザイベントスペース「ゼファ」  
 報告会日程 3月20日(火) 13:30~14:30  
 報告協力 NPO 法人輝くなかまチャレンジド 理事 内海幸子  
 共催 NPO 法人ふくおか NPO センター 協力: NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台・LOVE FM

<東京会場>

開催日時 3月26日(月) 19:30~21:30  
 開催場所 東京都港区西麻布 2-24-2 KREI ビル co-lab 西麻布  
 協力 NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台

② インターネット配信「復興 ing みやぎ with NPO」

ホームページを作成し、県内の NPO から 20 団体を選定し、掲載情報発信を行った。トップページ「NPO's TOPICS」では、県内 NPO の復興イベントなども紹介し、リンクをはって発信した。

URL <http://miyagi-fukkouing.jp/>  
 掲載団体 20 団体  
 公開日 3月9日  
 アクセス数 3月9日~5月31日 訪問数: 2683 アクセス数: 10586

③ フリーペーパー作成「復興 ing みやぎ with NPO」

フリーペーパーを作成し紙媒体で県内 NPO の中から 20 団体を選定し、情報発信を行った。また、宮城県内の社会福祉協議会が運営しているボランティアセンター11 か所を紹介した。

掲載団体 20 団体+ボランティアセンター11 か所  
 発行内容 A4 版 24 ページフルカラー  
 発行部数 5000 部  
 発行日 3月1日

### 3. 講座・研修等の企画運営

#### (1) NPOで高校生の夏ボラ体験2011（7月～8月）

将来、地域の担い手となる若年層が NPO に出会うきっかけづくりとして、平成 15 年からはじまり、今年度で 9 回目を迎えた。平成 23 年度は 3 月 11 日に発生した、東北地方太平洋沖地震の関係で宮城県の高校では、4 月中の休校期間の振替授業が夏休みに行われたため、事前学習会を 7 月末に開催した。

今年度は新たな取り組みとして、事前学習会時に河北新報社より協力を得て「文章の書き方講座」を開催した。これは、ボランティアを終えた高校生に体験を振り返り、夏ボラブログでの発信や、体験終了後に感じたことを感覚から文字にしてもらい、体験談作成の一助とすることを目的としている。

プログラム自体は、今年度も 3 日間のプログラムを中心とし、期間は 7 月末から 8 月に体験をした。連続した期間で体験することにより、高校生の団体活動への理解を深め、高校生と団体のみならず、高校生と利用者とも、よりよい関係性をつくり、広がりのあるものになった。

受入団体からは、「普段とは違う関わり方ができるので、今後も受入を続けていきたい」、「受入 NPO として、関わりに楽しみが持てるような活動をもっと提供したい」という声が聞かれた。また、震災を経験したことで、自ら積極的に目的をもって活動に取り組んでいた高校が多く見受けられた。

次年度への課題として、マッチングを行う際、夏休みが各高校によって異なること、大学のオープンキャンパスや課外、部活、学校行事といったことも重なり、キャンセルをする高校生も多かったことがあげられる。今後は、プログラムの注意点を、事前に明確に表記し、声掛けをおこなっていききたい。

①事前学習会 7月23、24日（仙台）7月30日（大崎）予備日7月26日（仙台）

②ボランティア体験 体験期間：7月11日～8月22日 体験者数：106名

受入団体：23団体（マッチング後のキャンセルにより、22団体の受入）

参加高校数：25校

③夏ボラ体験談 2011 集発行 89名の体験談を掲載 発行部数：350部

④地域 SNS「ふらっと」での活動紹介 56回情報掲載

アクセス数：15,903（ふらっとのトップページにバナー貼った期間）

共催 かほく「108」クラブ

協賛 河北新報社 11社

後援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 登米市教育委員会 大崎市教育委員会  
石巻市教育委員会 岩沼市教育委員会 栗原市教育委員会 大河原町教育委員会

#### (2) 被災地NPOのための出前専門相談会（新しい公共支援事業）

東日本大震災により被害を受けた地域における 6 か所で NPO 等の活動に関する再建、基盤整備及び新設等を支援し、災害復興を促進するため、被災地に専門相談員を派遣して、NPO の助成金情報や NPO 法改正に関する講座と、NPO のための専門相談会を開催した。相談を行った団体の満足度は 96%となった。アンケートでは、相談をしたことで今後の見通しが立ったというコメントが多数を占めた。また、今後も継続的にサポートしてほしいという内容のコメントも多かった。

共催	登米市、石巻市
後援	岩沼市、山元町
協力	特定非営利活動法人宮城マネジメント協会 特定非営利活動法人ネットワークオレンジ
実施期間	平成 23 年 10 月 14 日～平成 23 年 11 月 17 日
開催内容	(1) NPO の助成金情報や NPO 法改正に関する講座 (2) 被災地 NPO のための出前専門相談会
相談者	(1) 大久保朝江・(2) 波多野卓司
開催日程	大崎市 10 月 14 日 (金) 登米市 10 月 24 日 (月)・25 日 (火) 気仙沼市 10 月 26 日 (水)・27 日 (木) 岩沼市 11 月 11 日 (金) 石巻市 11 月 14 日 (月)・15 日 (火) 山元町 11 月 17 日 (木)
相談	午前 2 時間 (10:00～12:00) 午後 3 時間 (13 時～16 時)
講座	各会場で初日に実施 (10:00～11:00)
参加団体	総参加団体: 60 団体 (うち、講座参加団体 49 団体、相談会参加団体 37 団体)

### (3) NPO 法人会計基準及び認定 NPO 法人の普及事業 (新しい公共支援事業)

平成 23 年 6 月に特定非営利活動促進法とそれに関連する税制が改定になったことを受けて、平成 22 年に発表された NPO 法人会計基準に基づく会計報告のあり方やそれに伴う会計処理の理解を深める研修会を実施した。あわせて、認定 NPO 法人の申請要件が改正されたことから、認定 NPO 法人の申請を促進するための講座も実施した。

また、宮城県内の税理士・公認会計士など会計の専門家向けの NPO 法人会計基準研修会も行い、NPO への理解を深め、NPO を支える会計の専門家を育成した。会計研修会では演習などのワークショップを行ったため、「具体的に把握でき、解りやすかった。」という声が多かった。また、講師も NPO に熟知している講師を選定したため、NPO 法人に寄り添った内容の講義となり、満足度が高かった。認定 NPO 法人講座は実際に申請した書類を用いて説明したことで、とても参考になったという声が多かった。専門家向けの講座は、東北税理士会に協力してもらい広報を行った。参加者の満足度が高く、「今後も情報交換を行いたい」などの声も上がった。

全体を通して 2 月の後半から 3 月にかけて 14 回の講座を行ったため、広報の期間が少なかったが、NPO 法人向け会計講座と認定 NPO 法人講座については、当初の参加目標の 200 名を達成し、専門家講座も 30 名が参加し、宮城県全体の NPO の基礎知識向上に繋がった。NPO 法人会計基準や認定 NPO 法人については今後も継続した講習会や相談会を行い、普及を行っていく必要がある。

主 催 宮城県

企画運営 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

実施期間 平成 24 年 2 月 23 日～平成 24 年 3 月 28 日

全参加者 233 名

実施内容

#### ①NPO 法人向け NPO 法人会計基準研修会

開催日程 大崎 2 月 23 日 (木)、登米 2 月 28 日 (火)、気仙沼 2 月 29 日 (水)、

仙台 3 月 1 日 (木)、大河原 3 月 23 日 (月)、石巻 3 月 14 日 (水)

開催時間 13:00~16:00  
講師 瀧谷和隆氏、成田由加里氏  
参加者 107 団体 129 名

②認定 NPO 法人普及講座

開催日程 仙台 2 月 22 日 (水)、石巻 2 月 27 日 (月)、大崎 3 月 9 日 (金)、  
大河原 3 月 22 日 (水)  
開催時間 13:30~16:00  
講師 脇坂誠也氏  
参加者 64 団体 74 人

③税理士・公認会計士向け NPO 法人会計基準研修会

開催日程 仙台 3 月 23 日 (金)、大崎 3 月 26 日 (月)、石巻 3 月 27 日 (火)、  
大河原 3 月 28 日 (水)  
開催時間 13:30~16:00  
講座内容 特定非営利活動促進法の改正について  
講師 加藤俊也氏、瀧谷和隆氏  
参加者 30 人

#### 4. 調査研究及び資料等の発行

##### (1) NPO 法人会計基準に関する研究会

平成 22 年 7 月 20 日に NPO 法人会計基準が策定された後、平成 23 年 6 月に特定非営利活動促進法が改訂され、NPO 法人の会計報告も「収支計算書」から「活動計算書」に改訂となった。今後、宮城県内で NPO 法人会計基準の普及を展開するには、専門家の協力が必要不可欠となる。そのため、会計の専門家に呼び掛かけて NPO 法人会計基準の研究会を立上げ、専門家と共に学びながら宮城県の NPO 法人会計基準の普及に寄与するための研究会の発足に関わった。

初回は NPO 関係者 5 名と専門家 6 名の参加となり、今後は、2 か月に 1 度開催し、参加者の幅を広げながら、事例を検証して、宮城県全域への NPO 法人会計基準を普及する活動の軸となる活動を行っていくこととなった。

発起人 成田 由加里 (公認会計士・税理士・認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家  
ネットワーク東北ブロック担当)

大久保 朝江 (特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

協力 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

開催日時 平成 24 年 4 月 25 日 (水) 18:00~19:30

会場 エル・パーク仙台 セミナー室

対象者 宮城県内の税理士・会計士など専門家、研究者、中間支援組織理事等

##### (2) 資料等の発行

###### ①NPO で高校生の夏ボラ体験 2011 体験談発行

参加者から体験談を集め、体験談集を 400 部発行した。

###### ②復興 ing みやぎ with NPO

月刊ゆるる特集記事「復興への道」に掲載された団体をピックアップし、復興支援活動を行っている団体情報を掲載した冊子「復興 ing みやぎ with NPO」を 5000 部発行した。

## 5. 講師等の派遣

### (1) 講師等派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演や研修などの講師をした。

月日	主催	内容
5月14日	青少年と障害者の自立支援センターとおきの広場	NPO法人になるということ
5月26日	宮城県	助成金の申請のポイント
6月8日	宮城県ボランティア協会	NPO法人と理事の役割
6月29日	古川黎明高校	ボランティアについて
7月4日	東北福祉大学	NPO法人のつくり方
7月12日	明治大学	NPOの視点から見た被災地の実情
7月13日	でんでん宮城生き生きネットワーク	NPO法人と理事の役割
7月28日	みやぎNPOプラザ	理事の役割
8月18日	中央共同募金会	支援金について
8月23日	宮城県ボランティア協会	NPOの経営のシステム
8月24日	宮城県	NPO夜学
8月29日	日本サードセクター経営者協会	指定管理者制度
9月8日	宮城県	NPO法人設立講座
9月18日	日本NPO学会	東日本大震災における市民活動の成果と課題
9月29日	静岡県	震災におけるNPOの活動と市民活動センターの役割
9月30日	静岡県	
10月8日	なごや市民フォーラム21	社会的起業の経営 杜の伝言板ゆるるの事例
10月10日	日本サードセクター経営者協会	成果発表会
10月15日	ひらかたNPOセンター	被災地は今、そして自分にできること
10月16日	八尾市市民活動支援ネットワークセンター	被災地は今、そして自分にできること
10月31日	ふくしまNPOネットワーク	NPO法人会計基準
11月1日	東北みち会議	宮城のNPOの現状及び東日本大震災後のNPOの活動
11月5日	日本サードセクター経営者協会	社会起業プランコンペティション審査
11月13日	全国ボランティアフェスティバルTOKYO	NPOの根本は「ボランティア」
11月21日	みよし市	災害時の情報受発信に備えて
11月30日	いきいき学園仙南校	豊かな地域活動とシニアの役割
11月3日	とよさとマイタウンクラブ	理事学習会
12月15日	ネットワークオレンジ	報告書の書き方
1月20日	宮城県	NPOと行政の協働
1月24日	宮城県	職員向け講座
1月26日	日本フイランソピー協会	企業とNPOの子育て支援協働推進セミナーin宮城
2月8日	いきいき学園県北校	豊かな地域活動とシニアの役割
2月12日	とめ市民活動支援協議会	学習会
2月15日	経団連	企業と被災地について
2月20日	とめ市民活動支援協議会	理事の役割
2月28日	あきたパートナーシップ	信頼される組織づくり
3月7日	とめ市民活動支援協議会	NPOの運営について
3月9日	宮城県	総会の準備と運営
3月11日	わすれたころのまさか団	震災 昨日 今日 あした
3月15日	ネットワークオレンジ	企画書の書き方
3月18日	日本NPO学会	東日本大震災 ソーシャルメディアとマスメディアの連携は進んだか？ その時、NPOは？
4月21日	登米市	登米市まちづくり基本条例とこれからの地域づくり
5月9日	明治大学	中間支援NPOによる被災地NPOの支援
5月10日	宮城県	NPO法改正のポイント
5月18日	宮城県	行政職員のためのNPO基礎講座
5月25日	日本NPOセンター	被災NPOの支援について

## (2) 審議会・委員会等の委員

行政等の審議会や委員会、評議会などの委員として、市民活動・NPOの立場から提言を行った。

- ① 国 : 内閣府 NPO 法人実態把握等に関する検討会 (1/25 4/24)
- ② 宮城県 : 宮城県特定非営利活動促進委員会 (2/14)
- ③ 宮城県 : 新しい公共支援事業運営委員会 (6/14 12/16)
- ④ その他 : せんだい男女共同参画財団評議員会 (3/23 4/2 )  
仙台国際交流協会評議員会 (7/29 5/24 )  
せんだい豊齢学園運営委員会 (12/19)

## (3) 助成金等審査員

みやぎ NPO 夢ファンド運営委員会審査会 (9/20 12/17 3/3)  
仙台国際交流協会助成金審査員 (9/13)  
愛知揆一福祉振興会みやぎ特別緊急大災害支援事業 (5/23 7/27)  
JKA(日本競輪協会)助成金審査委員 (6/6 6/17 7/17/19 10/18 11/25 12/6 1/13)  
新しい公共支援事業 (6/14 6/20 9/29 3/22)  
タケダいのちとくらし再生委員会出席(10/4 1/23)  
かほく「108」ファンド審査会(5/17)

## 6. 相談・ヒアリング

- ①ヒアリング : 6月2日 損保ジャパン岡林氏ヒアリング対応
- 6月3日 内閣府ヒアリング対応
- 6月10日 東北大学石井山氏ヒアリング対応
- 6月15日 市民社会創造ファンド坂本氏対応
- 6月17日 ボストンコンサルティング田浦氏ヒアリング対応
- 6月21日 トヨタ財団若松氏ヒアリング対応
- 7月4日 市民フォーラム21 来訪
- 7月9日 助成財団センター田中氏来訪
- 8月3日 助成財団センター田中氏来訪
- 9月6日 デイトトーマツコンサルティング檜垣氏来訪
- 9月21日 とみやまちづくり創生機構高橋氏来訪
- 1月10日 明治大学塚本教授ヒアリング対応
- 2月2日 NPO 子どもの村福岡来訪
- 2月8日 札幌エルプラザヒアリング来訪
- 2月20日 国交省・日本総研ヒアリング対応
- 3月7日 東北復興新聞ヒアリング来訪
- 3月23日 朝日新聞ヒアリング対応
- 3月28日 アプラザイズ調査研究所(内閣府)ヒアリング対応

- 3月29日 愛知学院大学経営学部ヒアリング対応
- 4月12日 登米市市民活動支援課3名来訪
- 4月17日 博報堂・NTT来訪
- 5月1日 インテル副社長他3名来訪

②相談：みやぎNPOプラザで行われる毎週水曜日のNPO運営・法人設立相談で対応

## 7. 市民団体等に対する支援

### (1) ろうきんNPOパートナーシップ制度2011(主催：東北労働金庫)

東北労働金庫と東北地区NPO支援センターの『協働事業』として、「ボランティア活動に興味はあるけど、どこに行けば良いかわからない」というニーズに応えるため、平成20年より実施してきた。退職を控えた方のNPO等でのボランティア活動を応援するため、地域社会への参画や新たな出会いをもたらし、地域での生きがいをサポートする目的がある。全体から見ると参加者は毎年増え、今年が最大となった。震災関連の推定参加者は全体の1/3となり、目標の120名を大きく上回った。しかし、昨年と同様、受入団体に参加者が一人もないケースもあるので、すべての団体に参加者が募るような活動をする必要がある。

主催 東北労働金庫

協力 東北地区NPO支援センター

【宮城県】杜の伝言板ゆるる せんだい・みやぎNPOセンター

実施期間 平成23年8月～12月24日

参加人数 全166名中宮城県の受入15名、ゆるるでの受付9名

宮城受入団体 (特活) ひなたぼっこ、(特活) FOR YOU にこにこの家、  
(特活) ばざーる

太白社会事業センター、ビートスイッチ、名取ハマボウフウの会、  
地域生活支援オレンジネット、(特活) 仙台夜まわりグループ、  
国際ボランティアグループ ともだち in 名取、  
(特活) 蔵王のブナと水を守る会

会議 第1回 平成23年6月22日(水)

第2回 平成23年10月19日(水)

第3回平成24年2月15日(水)

### (2) IT化支援NPOのネットワーク事業(委託者：宮城県)

一般県民やNPOへのIT技術のサポートをするために、IT支援を目的とするNPOとのネットワークを構築し、県民の情報リテラシーの向上を図る目的で、平成21年8月に構築された県内のIT化支援NPOネットワーク宮城の運営を行った。ICT指導者養成研修会等を開催し講師のスキルアップを行うと共に、一般県民やNPOへのIT活用支援講座等を行い普及に努めた。平成24年3月31日をもって委託事業を完了し、ネットワーク内で結成されたICT支援NPOネットワーク宮城に引き継いだ。

①「ICT 支援 NPO ネットワーク宮城」の IT スキルアップ支援実施

<ICT 指導者養成研修会>

開催状況：8 開催(6/24、7/22、8/24、10/14、11/25、12/16、1/27、2/10)

総時間数 34 時間、延べ 89 名

<ICT 指導者スーパーバイザー研修>

開催状況：4 開催(9/30、12/9、1/17、2/21) 総時間数 20 時間、延べ 40 名

<パソコンスキル判定試験実施>

開催状況：4 回(6/11、9/24、2/25、3/3) 受検者数 11 名

合格級 P 検準 2 級 1 名 / P 検 3 級 9 名 / P 検 4 級 1 名

②一般県民、NPO の IT 活用支援業務

<ICT スクールみやぎ開催の支援>

開催状況：1 開催(10/28、11/4、11/11) 5 時間×3 日間、延べ受講人数 31 人

<研修参加者によるネットワーク団体 IT 普及活動実績> (平成 23 年 3 月末)

普及活動人数 39 名・普及活動日数延べ 1116 日

延べ講座受講者数 3,260 人

③ICT 支援 NPO ネットワーク宮城」サポート業務

団体との意見交換実施 2 回(9/16、3/6) 参加団体延べ 14 団体

(3) 登米市市民活動支援拠点づくり事業(宮城県新しい公共支援モデル事業)

登米市の市民協働のまちづくりを進めるため、地域の福祉や環境、子育てなどの活動を展開する市民活動やコミュニティ活動を支援し、地域の活性化と相互扶助の意義を進めることを目的に、それぞれの活動団体が力をつけていく支援拠点を設置し、そこを運営していく組織体制を構築するための支援事業を実施した。その結果、支援拠点で市民活動の支援活動団体の支援をするスタッフを養成すると同時に、支援拠点施設を選定し、4月28日に『とめ市民活動プラザ』を開館することができた。今後、登米市に市民活動の拠点ができたことで、市民活動団体の活動が活発になることが予測されるため、今後も新しい支援拠点と連携しながら、市民活動団体の支援を行いたい。

実施主体 とめ市民活動支援協議会

協議体 (特活) 杜の伝言板ゆるる、とめ市民活動フォーラム、登米市

期間 平成 24 年 1 月～ 2013 年 3 月(現在継続中)

実施内容

<運営協議会>

第 1 回 平成 24 年 1 月 20 日 顔合わせ、今後の進め方など確認

第 2 回 平成 24 年 2 月 12 日 3 月までの事業の確認、勉強会「NPO の理事の役割」

第 3 回 平成 24 年 2 月 20 日 支援拠点について打合、勉強会「NPO 法人になるということ」

第 4 回 平成 24 年 3 月 7 日 支援拠点の機能の決定、活動拠点状況報告

第 5 回 平成 24 年 3 月 19 日 スタッフ採用、支援拠点の機能と名称の決定

第 6 回 平成 24 年 4 月 6 日 支援拠点の詳細の決定

第7回 平成24年4月12日 オープニングイベントの内容決定、招待者選定

第8回 平成24年4月21日 オープニングイベント詳細決定

第9回 平成24年5月11日 情報誌についての検討

<支援センター視察>

日時 平成24年2月26日 9時～18時 バス移動

場所 多賀城市市民活動サポートセンター、みやぎNPOプラザ、  
大崎市市民活動サポートセンター

内容 各施設についての説明・質疑応答（資料：各施設ごと）

<市民活動支援拠点設置>

名称 とめ市民活動支援プラザ

住所 登米市迫町佐沼南元丁41-5

内容 交流サロン、印刷機・コピー機によるツールの作成、チラシなどの設置、  
情報の受発信、隔月で情報誌の発行、無料専門相談、講座の開催など

<オープニングセレモニー&交流会>

日時 4月28日（土）

場所 とめ市民活動支援プラザ

参加者 登米市長、議長、市内NPO法人など約40名

<スタッフ育成>

2名の常駐スタッフを採用し、みやぎNPOプラザ主催の講座などを受講したほか、3月27日から5日間みやぎNPOプラザにて宿泊研修をおこない、市民活動支援拠点で必要なスキルを提供した。

(4) 被災したNPOの募金サイト「復興みやぎ」

東日本大震災により被害を受けた高齢者や障がい者支援事業を行っているNPO法人の調査を行った。調査後、被災したNPOを応援する募金サイト「復興みやぎ」を開設し運営することで被災状況をサイトから発信。それに伴い、被災した団体を定期的に訪問し寄り添った支援を行い、近況をサイトにアップし、助成金などの情報を提供した。7月に開設し、8月に掲載団体数を1団体増やし全9団体とした。パブリックリソースセンターが運営するオンライン寄付サイト「ギブワン」と提携し、オンライン寄付が出来る仕組みを作成。また、10月には「復興みやぎ」の英訳サイトも作成し、全世界へ情報を発信した。ギブワンと提携することで個人からの寄付も集めることが出来たが、割合として財団法人などの助成金や企業などの寄付金が多かった。掲載団体は情報発信の大切さを理解し、ホームページやブログの開設、季刊誌や礼状などの発行を行った。

協力団体 特定非営利活動法人パブリックリソースセンター  
特定非営利活動法人日本NPOセンター  
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド  
公益社団法人日本フィランソロピー協会

サイト開設日 平成23年7月6日

掲載団体数 9団体

掲載団体	(特活) なごみ、(特活) 泉里会、(特活) どんぐりの家 (特活) みやぎ身体障害者サポートクラブ、(特活) みどり会 (特活) 輝くなかまチャレンジド、(特活) 創る村 (特活) のんびりすみちゃんの家 (特活) 住民互助福祉団体ささえ愛山元
近況更新数	94 回
寄付金・助成金額	41,060,938 円 (直接団体へ寄付する仕組みの為把握している金額)
主な寄付助成団体	東日本大震災現地 NPO 応援基金、愛知揆一社会福祉振興会、 関西日米婦人会、シンクザアース、公益財団法人助成財団センター、 中央共同募金会、フィランソロピー基金、フランスナチキス銀行、 ゆめ風基金、石橋財団、JCB 助成金 (フィランソロピー)、 損保ジャパン記念財団、
ギブワン経由の募金	あゆみの箱、米日カウンスル
アクセス数	合計訪問数 21,924、合計ヒット数 1,293,426

#### (5) iSB 公共未来塾

iSB 公共未来塾は、内閣府「地域社会雇用創造事業」の一環として、社会的企業育成支援事業コンソーシアムが運営するビジネススクールとして地域に根差した人を育てるために、社会的企業育成支援事業コンソーシアムが企画運営を、当杜の伝言板ゆるるが運営協力団体として仙台会場の運営を支援した。地域の活性化と雇用の創出を目的に、人材育成のための研修プログラムと、社会的起業の支援を組み合わせ実施された。研修プログラムでは、社会的企業の起業と経営に関する講義、NPO でのインターンシップを行い、それを踏まえた演習では、ビジネスモデルやロジックモデルを作成した。長期間の講座、仕事を持ちながらでのインターンシップ参加は難しいという声も多く、参加者の都合により、最終的な発表までに至ったのは1名のみであった。

主催	内閣府
企画実施	社会的企業育成支援事業コンソーシアム
全体統括	一般社団法人日本サードセクター経営者協会
実施協力	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

#### <研修プログラム>

開催日時	8月30日(火) 13:00~19:00・8月31日(水) 10:30~18:00
参加者	30日 11名 ・ 31日 10名
内容	30日 ①自治体と公共サービス/公民連携・公共サービス改革 講師：跡田直澄氏 ②社会起業家によるプレゼンテーション 講師：佐藤正実氏 ③新しい公共と社会的企業の広がり 講師：海津歩氏 ④指定管理者制度について 講師：大久保朝江氏

31日 ① 事業委託・バウチャー制度

講師：後房雄氏

② 社会起業家によるプレゼンテーション

講師：佐々木豊志氏

③ 社会的企業の経営を考える/ロジックモデルの意義と作成方法

講師：藤岡喜美子氏

④ ビジネスモデルの意義と作成方法

講師：藤岡喜美子氏

<インターンシップ>

開催日時 9月1日～参加者の希望により実施

参加者 1名

<成果発表会>

開催日時 10月10日(月)

参加者 8名

内容 ビジネスモデル、ロジックモデルの発表

<iSB 社会企業コンペティション>

開催日時 11月5日(土)

発表者 6名

(6) 名義後援

- ・ 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 災害ボランティアシンポジウム(2/4)
- ・ 大國神社の山野草を守る会 第7回 かたくり祭(4/7～4/24)

8. 宮城県民間非営利活動プラザの管理運営

前年度までの指定管理に引き続き、平成23年4月から5年間、宮城県内のNPO活動を総合的に推進するための中核機能拠点として宮城県が設置した「みやぎNPOプラザ」の指定管理者に決定し、管理運営を行った。

平成23年3月11日には東日本大震災が発生し、そこで県内外の多くのNPOが復興支援活動を展開し、NPOの必要性や重要性が改めて注目された。このことから、地域のNPO活動の活性化のためにNPO理解を普及するほか、地域に出向いてより組織の力づくりに結び付く事業展開を進めた。

(1) 施設管理

① 施設利用状況

東日本大震災の影響で、4/1～4/24まで開館時間を9:30～17:00に短縮したが、年間を通しての利用者は前年度より8,615名増えている。1ヶ月平均で見ると、4,724名で、前年度1ヶ月平均の4,006名より718名増加した。これは、震災以降、他施設が使用できないためにプラザの会議室利用者数が増えたことや、5月からNPO法人シャロームの会が運営しているレストランの利用者数増加の影響が大きい。

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
H23合計	61	3	9,797	2,540	2,234	504	409	915	39	18,011	353	1,734	2,828	1,551	3,472	2,238	10,008	56,697
H22合計	95	7	9,535	2,013	2,286	692	290	895	420	14,235	322	2,098	3,148	1,665	3,633	1,791	4,957	48,082

※NPO相談には専門相談を含む

## ②貸会議室利用状況

本来4月は会議室使用件数が多い月だが、開館時間短縮のために利用件数が少なかった。4/26(火)に通常開館を再開するまで、17:00以降に会議室を使用する予定だった団体には、使用許可の変更および返金で対応した。

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
H23合計	327	6,139	1,229	266	5,804	1,057	145	1,120	368	234	1,827	736	339	3,121	1,037	1,311	18,011	4,427
H22合計	261	5,346	1,035	218	4,631	764	139	1,019	414	175	1,306	525	242	1,933	831	1,035	14,235	3,569

## ③コピー機、印刷機使用状況

4月に印刷機2台を新しい機種に交換し、サービスの向上を図った。

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
H23合計	21,653	1,418	23,071	6	1,183	6,070	1,719,700	121	26
H22合計	18,690	1,698	20,388	3	1,382	7,147	2,729,252	146	28

## ④事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が、入居期間中に力をつけていけるよう、利用者懇談会等で活動状況の話を聞き、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。特に講座については、活用しやすいように受講料を一般参加者より安価に設定した。

## ⑤施設見学および運営ヒアリング

施設見学は16件(NPO11件、行政3件、学校関係2件)対応し、みやぎNPOプラザの機能を紹介した。また、プラザ運営についてのヒアリングは行政からの1件に対応し、管理運営の状況などを説明した。

## ⑥事務室等施設使用団体選考審査会

民間非営利活動拠点施設条例により、事務室使用団体を公募し、選考審査会において決定。

- ・第1回：8月31日(水)、事務室(大)(中)使用団体決定
- ・第2回：2月24日(金)、事務室(小)使用団体決定

## (2) 交流サロンの運営

### ①情報の発信

NPOから周知を依頼されたイベントや講座等のチラシ、プラザスタッフが収集した情報を

交流サロンに掲示し、情報発信した。特に東日本大震災復旧支援関係の助成金情報は、多くの利用者に活用された。

NPOが発行する図書やマネジメントに関する書籍等も設置し、閲覧に供した。

②利用者懇談会の開催

みやぎNPOプラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催。第1回目の開催ではこれまで参加したことのない団体からも参加者があり、第2回目は事務室等、プラザを拠点に活動している利用団体の活動の様子を聞き、情報共有や団体間の交流を図ることができた。

日 時	9月14日(水) 18:30~20:00
参加者数	16名(利用者12名、プラザ4名)
内 容	プラザへの要望、団体が抱える課題(NPO法人格の取得や、組織運営について)等の情報交換、プラザの事業紹介など

日 時	2月22日(水) 14:00~15:40
参加者数	11名(事務室等使用団体6名、宮城県1名、プラザ4名)
内 容	事務室、ショップ、レストラン使用団体を対象に開催。団体の活動状況を説明し、抱える課題やその対応策などの情報交換

(3) インターネット情報サイト(みやぎNPO情報ネット)運用業務

助成金情報やNPOが発信するイベント等の情報掲載、団体情報の収集と掲載に力を入れたほか、毎月の講座や地域連携事業の事前広報用のページを作成し、終了後は報告を写真と共に掲載した。

また、東日本大震災後に新規作成した「NPOが募集する震災関連ボランティア」「各市町村の災害ボランティアセンター」「東日本大震災 みやぎのNPO活動情報」を常時更新した。5月には、アクセス解析から見える「復興活動に対する支援情報」についてのニーズに対応し、トップページに震災関連の新着情報枠と、震災関連の助成金情報をまとめたページを新規に作成し、情報を分かり易く集約することに努めた。

震災関連のページの今年度のアクセス数は合計約 28,000 で、トップページに次いで最も閲覧されたページとなった。

①みやぎNPO情報ネット更新件数

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県各課・市町村	その他更新	合計	管理日数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金										
H23合計	294,747	1,014,431	78,878	247	234	776	294	2,130	227	153	40	25	20	43	537	4,723	283
H22合計	272,080	-	-	241	316	536	235	1,885	273	191	30	33	16	21	482	4,259	260

②みやぎNPO情報ネット年次記録

(件)

年度	年	情報アップ数	アクセス数 (トップページ)	アクセス数 (訪問者数)	アクセス数 (セッション数)	閲覧ページ数 (～2008.06)	ページビュー (2008.07～)
13	2001	617	23,298	-	-	-	
14	2002	935	32,840	-	-	-	
15	2003	888	47,878	331,687	-	612,140	
16	2004	918	52,613	197,352	-	613,557	
17	2005	871	-	217,825	-	568,013	
18	2006	912	-	269,763	-	775,292	
19	2007	757	-	243,979	-	1,298,171	
20	2008	817	-	77,638	122,863	385,672	505,485
21	2009	968	-	-	248,395	-	788,388
22	2010	1,093	-	-	272,080	-	952,038
23	2011	1,257	73,077	294,747	-	-	997,386
累計		10,033	229,706	1,632,991	643,338	4,252,845	3,243,297

③ブログ「東日本大震災 みやぎのNPO活動情報」発信件数

(件)

	新規エントリー数					合計
	地震後のNPO の動き	ボランティア 募集情報	NPO支援情報	ボランティア センターの動き	義援金 寄付金	
2011.3月	25	3	4	7	1	40
2011.4月	13	7	13	3	0	36
2011.5月	12	2	4	2	0	20
2011.6月	5	0	0	0	0	5
2011.7月	1	0	0	0	0	1
合計	56	12	21	12	1	102

④みやぎNPOプラザブログ～おむすび日記～

(件)

	新規エントリー数						合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	50歳からの NPO実践塾	プラザまつり	東日本大震災	NPO法人 認証情報	
H23合計	5	137	24	0	1	26	193
H22合計	11	162	22	24	21	26	266

⑤みやぎNPO情報ネットメールマガジン

(件)

発行日	NPO支援情報 (トピックス)	NPOプラザ からのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H22合計	60	59	96	42	18	275
H23合計	60	35	100	52	0	247

(4) みやぎNPOプラザの情報誌編集・発行業務

①One to One 発行

- ・発行日：年6回 奇数月(5・7・9・11・1・3月)の1日
- ・発行部数：3,000部
- ・仕様：A3判 2ツ折り カラー1色印刷

②月刊杜の伝言板ゆるる プラザページ

- ・発行日：毎月1日

- ・発行部数：8,000部(7月からは助成金を受けて10,000部発行)
- ・仕様：A4判 1ページ カラー1色印刷

※主な配布先：県内各市町村(42箇所)、県地方振興事務所(7箇所)、県内NPO支援施設(8施設)、県内NPO支援組織(2団体)、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設(10施設)、仙台市市民センター、県外のNPO支援施設・団体(4ヶ所)など

## (5) NPOの促進・団体の育成等に関する相談業務

### ① 専門相談

専門相談として、館長による法人設立・団体運営相談を毎週水曜日に開催したほか、税理士や公認会計士による会計税務相談を毎月、社会保険労務士による雇用なんでも相談を4月と2月、中小企業診断士による経営相談を6月、8月、10月、12月に相談日を設けて開催し、合計59件の相談に対応した。

また、被災したNPOの復興支援として、被災したNPOのための相談として、4～6月の毎週木曜日に相談の場を提供し、社会保険労務士と中小企業診断士が5件の相談に対応した。

	H23合計	H22合計
会計・税務	26	15
雇用なんでも	3	3
経営	6	6
法人設立・団体運営	59	47
被災NPOなんでも相談	5	—
合計	99	71

### ② 窓口相談

窓口や電話での相談には、スタッフが対応した。合計169件対応。震災復旧活動でのNPO立ち上げ、法人申請に関する相談が多かった。専門性が高いものは専門相談につなぐなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

## (6) NPOの促進・団体の育成等に関する研修業務

### ① NPO運営のためのマネジメント講座

NPOの運営一般、人材育成に関する「NPOマネジメント講座」を6講座開催した。

参加者総数は143名(平均24名)で、定員の20名を超えた講座は6講座中5講座だった。

開催日	講座名	講師	参加者
5/26(木)	助成金申請のポイント	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	18
7/28(木)	理事会の運営に悩む理事長のための講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	29
8/24(水)	NPO夜学～基礎編～	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長) 伊藤清市氏(ゆにふりみやぎ代表)	28
9/8(木)	NPO夜学～法人設立編～	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	21
2/15(水)	みんなの意見を「見える化！」 ファシリテーショングラフィックを学ぼう	徳田太郎氏 (NPO法人日本ファシリテーション協会会長)	23
3/9(金)	安心して総会をむかえるために	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	24

②NPOの会計・税務・決算等の講座

NPOの会計・税務に関する「NPOのための会計税務講座」を6講座開催した。  
参加者総数は120名(平均20名)で、定員の20名を超えた講座は、6講座中3講座だった。

開催日	講座名	講師	参加者
6/2(木)	はじめてのNPO会計	平野由紀子氏(税理士)	22
7/13(水)	信頼されるNPOになる!お金の管理の仕組み	成田由加里氏(公認会計士、税理士)	15
12/1(木)	NPOにかかわる税金初級講座	平野由紀子氏(税理士)	19
1/26(木)	NPOのための法人税講座	平野由紀子氏(税理士)	23
2/14(火)	押さえて安心!「活動計算書」のポイント	成田由加里氏(公認会計士、税理士)	21
3/16(金)	これでばっちり!NPO法人の会計監査	橋本潤子氏(公認会計士)	20

③出前講座

県域のNPOの基盤整備の支援のため、年3講座開催。NPOの運営に役立つ講座や情報交換などを行った。この講座は、指定管理協定書の事業仕様書にはない、指定管理者の提案事業である。

開催日	講座名	講師	参加者
11/9(水)	[栗原] NPOで取り組むコミュニティビジネス	大滝聡氏、齋藤主税氏 (NPO法人都岐沙羅パートナーズ)	19
11/10(木)	[仙南] NPOで取り組むコミュニティビジネス	大滝聡氏、齋藤主税氏 (NPO法人都岐沙羅パートナーズ)	22
1/20(金)	[登米] NPOと行政の協働セミナー〜よりよい関係を築くために〜	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	22

(7) NPOに関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPOを取り巻く環境や基礎的な理解を深めるために開催。市町村のNPO担当課との情報交換の場にもなっている。

開催日	講座名	講師	参加者
1/24(火)	NPO法人に関するさまざまな動きについて	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	15

(8) NPO支援施設および中間支援組織の育成支援業務

宮城県内のNPO支援施設のスタッフや民間NPO支援組織のスタッフを対象に、緩やかなネットワークを構築し、NPO支援に必要なスキルを学び、互いに情報交換や共有をすることで、宮城のNPO支援力を高める機会を提供した。

開催日	講座名	講師	参加者
7/29(金)	「新しい公共」と宮城県の取り組みを学ぶ	佐々木幸則氏(宮城県環境生活部 共同参画社会推進課主任主査)	20
11/19(土)	みやぎのNPO〜これまでの10年、これからの10年〜	※開館10周年記念NPOフォーラム参照	18
2/23(木)	法人設立に関する相談対応	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	13

(9) みやぎNPOプラザ開館10周年事業

①みやぎNPOプラザ開館10周年記念NPOフォーラム

開館10周年記念事業として、「みやぎNPOプラザ開館10周年記念NPOフォーラム」を開催し、地域で期待されているコミュニティビジネスの取り組み事例の発表、震災後のNPOがどのように活動に取り組んだか、そして、これまでの10年間のNPOの動きを振り返り、これからの10年を見据えNPOの役割を考えるフォーラムを開催した。

事業名	みやぎNPOプラザ開館10周年記念NPOフォーラム
主催	宮城県
共催	NPO法人杜の伝言板ゆるる
協力	NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター
後援	河北新報社
開催日時	11月19日(土) 10:30~19:00
会場	みやぎNPOプラザ
来場者数	558名
プログラム	<p>[交流サロン]</p> <p>●NPOのソーシャルビジネス事例発表会 (10:30~12:00)</p> <p>■発表者</p> <p>NPO法人どんぐりの家(登米市) 代表理事 石川志穂子さん          NPO法人おおさき地域創造研究会(大崎市) 事務局長 小玉順子さん          NPO法人里山ひろば(山元町) 理事長 佐藤勲さん</p> <p>■コメンテーター</p> <p>NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長 斎藤主税さん          経営コンサルティング波多野事務所代表 波多野卓司さん          宮城大学地域連携センター地域振興事業部調査研究部長 古川隆さん</p> <p>3.11 宮城のNPOはどう動いたか それぞれの救援活動から (13:00~14:00)</p> <p>■報告者</p> <p>NPO法人ワンファミリー仙台理事長 立岡学さん          NPO法人みやぎ宅老連絡会 星菊江さん          NPO法人ネットワークオレンジ代表理事 小野寺美厚さん</p> <p>主催者挨拶 (14:40~14:45)</p> <p>●パネルトーク</p> <p>「みやぎのNPO~これまでの10年、これからの10年」(14:45~17:15)</p> <p>■パネラー</p> <p>認定NPO法人日本NPOセンター代表理事 山岡義典さん          東北大学大学院経済学研究科教授 大滝精一さん          NPO法人いしのまきNPOセンター理事 木村正樹さん          登米市市長 布施孝尚さん</p> <p>■コーディネーター</p> <p>みやぎNPOプラザ館長 大久保朝江</p> <p>NPO法人創る村からの歌のプレゼント (17:30~17:45)</p> <p>交流会 (17:45~19:00)</p> <p>●[会議室] みやぎのNPOひろば (10:30~17:00)</p> <p>クーシュの会・NPO法人ゆにふりみやぎ・フラワーセラピー研究会仙台・NPO法人グループゆう・NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ・仙台生ごみリサイクルネットワーク・NPO法人経営体質改善サポート宮城・NPO法人シャロームの会</p> <p>●[交流サロン、ショップスペース] NPOのお店コーナー (11:00~15:00)</p> <p>・仙台生ごみリサイクルネットワーク ・NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ          ・NPO法人とうほく食育実践協会 ・NPO法人おおさき地域創造研究会</p>

②みやぎNPOプラザ10周年記念誌発行

みやぎNPOプラザは、平成13年4月に開館してから平成23年3月で10年を経たことから、これまでの10年を振り返り、記録しておくことが重要と判断した。県直轄管理の4年間と指定管理者となつてからの6年間の記録を掘り起こし、B5版の冊子にまとめた。作成にあたっては、これまでのプラザに関係が深いNPOや県の担当者等で編集委員会を作り、10/12、11/1の2回、協議した。

(10) 50歳からのNPO実践塾

①第8～10期実践塾

シニア世代のNPO活動への参加促進のために連続講座として開催し、NPOの立ち上げやNPOの継続活動の実践につなぐために実施。参加対象は「団塊の世代」を中心とした50代以降の年齢層。塾長はみやぎNPOプラザ館長が務めた。

参加者同士の交流や情報交換が気軽にできるよう、第9期からは講座の後に懇談タイムを設け、現在も継続している。第1～10期の卒塾生は107名になった。

	第8期	第9期	第10期
実施回数 実施日	①5/14(土) ②5/28(土) ③6/11(土) ④6/25(土) ⑤7/9(土) ⑥7/23(土)	①9/17(土) ②10/1(土) ③10/22(土) ④10/29(土) ⑤11/12(土) ⑥11/26(土)	①1/21(土) ②2/4(土) ③2/18(土) ④3/3(土) ⑤3/17(土) ⑥3/24(土)
時 間	14:00～16:00	14:00～16:00 懇談タイム16:00～16:30(参加自由)	14:00～16:00 懇談タイム16:00～16:30(参加自由)
参加人数	12名	11名	11名

②フォローアップセミナー

卒塾生を対象に、近況報告や交流および情報交換を行うため、8月21日(土)、12月10日(土)に2回開催。

(11) 「をむすび案内帳」刷新

指定管理者3期目になったことから、これまで使用していたみやぎNPOプラザ案内パンフレット「をむすび案内帳」を刷新した。担当職員を中心としてデザインや内容を協議し、A3版の4つ折りで見やすいデザインとした。1万部印刷。11月18日(金)から使用開始。

(12) NPOの書籍販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む4団体。書籍の種類は12種類で、104冊販売した。

(13) みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年2回開催。

- ・第1回：6月28日(火) 13:30～15:30
- ・第2回：1月18日(水) 10:00～12:00

## 組織運営に関する事項

### 1. 総会の開催

平成 23 年度定時総会を開催

開催日時:平成 23 年 7 月 16 日(土) 14:00~15:30

場所:みやぎ NPO プラザ

議案:22 年度事業報告及び決算

23 年度事業計画及び予算

23 年度役員を選任

### 2. 理事会の開催

理事会開催 年間 10 回開催

	開催日		開催日
第 84 回	6 月 21 日 (火)	第 89 回	11 月 16 日 (水)
第 85 回	7 月 7 日 (木)	第 90 回	2 月 18 日 (土)
第 86 回	8 月 19 日 (金)	第 91 回	3 月 24 日 (土)
第 87 回	9 月 27 日 (火)	第 92 回	4 月 17 日 (火)
第 88 回	10 月 20 日 (木)	第 93 回	5 月 23 日 (水)

### 3. 会議

(1)スタッフミーティング 毎月第 1 月曜日 10 回 (6 月、1 月は開催を見合わせた)

(2)事務局スタッフ及び NPO プラザスタッフ合同の研修・打合せ<10 回>

開催日 : 7 月 4 日、8 月 1 日、9 月 5 日、10 月 3 日、11 月 7 日、12 月 5 日、  
2 月 6 日、3 月 5 日、4 月 2 日、5 月 7 日

(3)編集会議<10 回>

開催日 : 8 月 16 日、9 月 13 日、10 月 11 日、11 月 8 日、12 月 9 日  
1 月 18 日、 3 月 15 日、3 月 21 日、4 月 13 日、5 月 16 日  
この他、メールでの情報共有を図った。

(4)事務局会議 スタッフ全体ミーティング前や事業担当者と個別に随時 実施

(5)プラザ運営主任打合せ 検討事項が発生した時点で随時打合せを行った。

### 4. 会員 (平成 24 年 5 月 31 日現在)

正 会 員 46 団体・個人

賛助会員 29 団体・個人

情報会員 71 団体・個人

### 5. 事務局員体制 (平成 24 年 5 月 31 日現在)

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡3-11-6)

代表理事：大久保朝江

常勤職員：甲山知苗・村上千恵・小沼亮・上関瞳・海藤南

非常勤職員：相原いづみ

(2) みやぎNPO プラザ勤務 (宮城野区榴岡5)

館長：大久保朝江

常勤職員：堀川晴代・庄司真希・池田節子・清野利之

斎藤真利男・下澤隆則・由利奈々子

非常勤職員：佐々木ひろみ

6. 職員研修

(1) 研修

役割に応じた研修に参加し、それぞれのスキルアップを図った。総数 16 回 延べ 29 名

日時	研修名
7月9、10日	NPO 支援センター 初任者研修会 (1名)
7月29日	みやぎ NPO プラザ NPO 支援センター研修 「新しい公共」と宮城県の取り組みを学ぶ (4名)
8月30、31日	iSB 公共未来塾 (2名)
9月14日	新寄付税制&NPO 法改正 支援センター向け研修会 (3名)
10月5日	平成23年度セキュリティーセミナー 仙台シニアネットクラブ主催(2名)
12月3日	SPREAD プログラム説明会(1名)
12月20日	宮城県社会福祉協議会ボランティア活動支援業務担当者向け研修 (2名)
1月25、26日	地方におけるコミュニティビジネスの育成・支援ノウハウ移転プログラム (1名)
1月27日	宮城県社会福祉協議会ボランティア活動支援業務担当者向け研修 (2名)
2月23日	みやぎ NPO プラザ NPO 支援センター研修 NPO 法人設立に関する相談対応 (2名)
2月23日	NPO と行政の対話フォーラム' 12 (1名)
3月1日、2日、 3日	アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー NPO の次世代育成プログラム研修 (東京) (1名)
3月1日	NPO の新しい会計基準を学ぼう！NPO 法人会計基準研修会 (1名)
4月11日	NPO ・非営利組織のための労務管理研修会 (2名)
5月15日	特定非営利活動促進法に係る諸手続きに関する説明会 (3名)
5月25日	みやぎ NPO プラザ NPO のための会計・税務講座 NPO のための会計のいろは (1名)

## 7. ボランティア

事務局及びNPOプラザにて5人のボランティアを受け入れ、192.1時間の協力を得た。

	月刊ゆるる		NPOプラザ		計
	データ入力	発送	10周年フォーラム	プランターケア	
有馬昭洋	86.3	27	9.0		122.3
吉田昭雄		15.5			15.5
鈴木広明		6.5			6.5
今部俊江				47.8	47.8
計					192.1

総時間数：192.1時間

## 8. 人員支援受け入れ

NPO法人日本NPOセンターが他県のNPO支援組織を仲介して、スタッフが事務局に派遣された。被災したNPOの訪問調査や、データ整理、各事業の活動を手助けし活躍した。

- ①NPO法人ひろしまNPOセンター 松村渉氏 6月8日～6月30日
- ②NPO法人ふくおかNPOセンター 事務局長 吉富まゆみ氏 7月6日～7月25日

## 9. 研修受け入れ

- ① NPO法人東北みち会議「NPO法人就職研修課」臨時職場体験2名受け入れ  
期間 平成23年11月10日、11月11日  
場所 ゆるる事務局、みやぎNPOプラザ
- ② NPO法人東北みち会議「NPO法人就職研修課」インターンシップ2名受け入れ  
期間 平成23年12月1日～平成24年2月10日  
場所 ゆるる事務局

## 10. 他団体との連携や協働の推進

### (1) 会員として連携

- ① NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ② NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク（総会出席9月10日 開催地：広島）
- ③ NPO法人日本NPOセンター（CEO会議出席：6月7日、総会出席：5月25日）
- ④ NPO法人シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会
- ⑤ NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会（連絡会出席：12月1日）
- ⑥ NPO法人会計基準協議会（協議会出席：8月5日）

### (2) 委員や事業等

- ① NPO法人日本NPOセンター  
評議員（平成22年度～） 会議出席：5月8日

- 東日本大震災における日本 NPO センターの取り組みについての報告会参加(5月25日)  
CEO会議に出席(12月1日)  
TeckSoupの集い出席(9月14日)
- ② NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター  
評議員 会議出席:5月24日
- ③ NPO 法人せんだい杜の子ども劇場 評議員  
「みんなつながれ!杜の子まつり」実行委員会・連携団体として参加  
(会議1月17日・31日 プレイベント12月26日・1月15日 本イベント2月4・5日)
- ④ 宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター  
東日本大震災「宮城県災害ボランティアセンター」の協働団体として連携
- ⑤ 東北労働金庫  
高校生の夏ボラ体験パンフレットに協賛広告掲載  
ろうきんNPOパートナーシップ制度で協働  
東北NPO支援センター連絡会で情報交換及び交流
- ⑥ かほく「108」クラブ  
かほく「108」ファンドの募集告知  
高校生の夏ボラ体験に共催団体としてかほく「108」クラブから資金提供あり。
- ⑦ NPO 法人パブリックリソースセンター  
「復興みやぎ」でオンライン寄付が出来るように連携
- ⑧ セッカ浜再生プロジェクト  
実行委員として参画しプロジェクト会議に参加(7月8日・8月4日・9月1日)  
海岸清掃ボランティア・菖蒲田浜復興まつりに参加(8月27・28日・9月4・10日)
- ⑨ NPO 法人会計基準協議会  
NPO法人会計基準協議会の専門委員として基準の普及や平成23年11月の改訂に関わった(8月5日・11月7日・12月26日・1月17日・1月30日・3月30日)平成24年4月よりNPO法人会計基準協議会に入会し、世話団体として参画。
- ⑩ NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
SPREAD 協働団体会議(12月3日)
- ⑪ 名取ハマボウフウの会  
閑上ハマボウフウ移植会参加
- ⑫ 日本 NPO 学会  
報告者として参加(9月18日・3月17日)
- ⑬ 市民メディア全国交流会  
展示参加(9月24日)
- ⑭ NPO 支援センター合同連絡会議参加(10月19日・2月15日・5月24日)
- ⑮ 水戸市男女共同参画課 被災地訪問コーディネート(10月21日)
- ⑯ 仙台シニアネットクラブ集いに参加(12月5日)
- ⑰ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(JCN)参加(2月9日)
- ⑱ 被災地支援の企業とNPOの意見交換会で報告(2月15日)
- ⑲ 行政監察局行政評価懇談会出席(3月1日)

⑩登米市市民協働フェスタシンポジウムパネラーとして出席（3月1日）

21 東北・SOS子どもの村情報センター 設立準備会参加(5月13日)

## 11. 組織の広報及び理解促進

### (1) ホームページ等の運用

① ホームページ <http://www.yururu.com/> を活用し、組織の情報公開を進めたほか、実施事業や求人情報を随時掲載した。

② 事務局ブログ（CANPAN）

【ホームページ／お知らせ 28件】

月	件数	月	件数
6月	2	12月	2
7月	5	1月	2
8月	3	2月	5
9月	1	3月	2
10月	2	4月	1
11月	1	5月	2

【事務局ブログ 111件】

月	件数	月	件数
6月	9	12月	10
7月	13	1月	10
8月	10	2月	4
9月	17	3月	9
10月	5	4月	10
11月	8	5月	6

### (2) 事務局通信を発行

事務局の活動について、会員の方々にご理解いただくために発行している。トップページに「理事コラム」を設け、団体の『顔』がよく見えるように努め、団体の存在意義を知らせる情報通信として発行している。

発行日：隔月発行平成24年4月から偶数月に発行（9月・11月・1月・4月）

発行部数：約200部

発送先：正会員・賛助会員・情報会員

掲載内容	9月号 理事の言葉「総会対応へのお詫びと報告」 P2～3 被災NPO復興支援室、NPO支援センターからの応援、 P4～5 夏ボラ、ろうきんNPOパートナーシップ制度、をむすび案内 帳リニューアル等
	11月号 理事の言葉「パラソル喫茶で被災者支援」 P2～3 復興みやぎ英語版公開、市民メディアとして出店参加、 みやぎNPOプラザ10年を振り返って等
	1月号 理事の言葉「新年にあたり」 P2～3 みやぎNPOプラザ開会10周年記念NPOフォーラム、 被災NPO復興支援室の活動、新しい公共支援事業
	4月号 理事の言葉「多様なセクター間の協働による被災地支援」 P2～3 新しい公共支援事業、登米市市民活動支援拠点事業、宮城の NPO活動を全国へ向かって情報発信、みやぎNPOプラザ10周年誌発 行、ゆるるからの巣立ち～独立を目指して～
	6月号 理事の言葉「改正NPO法への対応について」 P2～3 みやぎNPOプラザで学ぼう、とめ市民活動プラザオープン、 NPO法人会計基準に関する研究会発足、SAVE JAPANプロジェクト、新スタッ フ紹介

(3) メディアでの広報

各種口座に関する情報発信に加え、メディアに取り上げてもらう機会を増やすため、NPO 法人会計基準の普及や復興支援に関する情報を積極的に発信した。

日付	記事内容
7月24日	河北新報夕刊 NPO で高校生の夏ボラ体験 2011 事前学習会 紹介記事
8月16日	読売新聞 被災 NPO への募金サイト「復興みやぎ」 紹介記事
9月3日	朝日新聞夕刊 「ゆっくり一歩ずつ」復興みやぎ 取材記事
10月1日	市民活動総合情報誌ウォロ 10月号 復興支援活動紹介記事
2月3日	厚生福祉 時事通信社 被災地で NPO が果たす役割 記事
3月20日	日本経済新聞朝刊 情報発信事業 in 福岡写真展 取材記事
3月21日	西日本新聞朝刊 情報発信事業 in 福岡 取材記事
3月21日	毎日新聞朝刊 情報発信事業 in 福岡写真展 取材記事
5月1日	毎日新聞朝刊 「NPO 資金集め苦戦」復興みやぎ 取材記事
5月23日	朝日新聞朝刊 「NPO 仲間が助っ人」復興みやぎ 取材記事
日付	ラジオ・インターネット放送
8月24日	ラジオ日本ヨコハマろはす復興みやぎについて 9:20~ラジオ出演
9月11日	ニコニコ動画「東日本大震災から半年。被災地で起こってる事、必要とされている事とは？」 出演
11月6日	USTREAM「支援のかたち第8回情報発信を振り返る」 出演
日付	新聞等催事欄掲載内容
7月6日	河北新報夕刊 NPO のための会計講座のしくみ 「信頼される NPO になる！お金の管理のしくみ」催事掲載
7月21日	河北新報夕刊 NPO のためのマネジメント講座 「理事会運営に悩む理事のための講座」催事掲載
7月22日	読売新聞 NPO のためのマネジメント講座 「理事会運営に悩む理事のための講座」催事掲載
7月23日	河北新報朝刊 NPO のためのマネジメント講座 「理事会運営に悩む理事のための講座」催事掲載
7月28日	りらく8月号 NPO 夜学「あなたにもできる市民活動」催事掲載
8月18日	河北新報夕刊 会計講座 「押さえて安心！活動計算書のポイント」紹介記事
8月20日	震災復興支援活動情報 サポセンかわら版 第12号 「50歳からの NPO 実践塾」紹介記事
8月21日	河北新報夕刊 NPO 夜学「あなたにもできる市民活動」紹介記事
8月28日	りらく9月号「50歳からの NPO 実践塾」紹介記事
9月11日	河北新報夕刊「50歳からの NPO 実践塾」紹介記事
10月14日	河北新報朝刊 「パソコンで生活をもっと楽しく」紹介記事
11月2日	河北新報夕刊 NPO のための出前マネジメント講座 「NPO で取り組むコミュニティビジネス」紹介記事
11月8日	河北新報夕刊 被災地 NPO のための出前専門相談会 紹介記事
1月26日	河北ウィークリー「押さえて安心！活動計算書のポイント」紹介記事
2月6日	河北新報夕刊 会計講座 「押さえて安心！活動計算書のポイント」紹介記事
2月6日	河北新報夕刊 マネジメント講座 「みんなの意見を『見える化！』ファシリテーショングラフィックを学ぼう

3月1日	河北新報夕刊 今こそ目指そう認定NPO法人講座 紹介記事
3月2日	河北新報夕刊 NPOのためのマネジメント講座 「安心して総会をむかえるために」 紹介記事
3月7日	河北新報朝刊 NPOのためのマネジメント講座 「安心して総会をむかえるために」 紹介記事
3月8日	河北新報夕刊 NPOのための会計・税務講座 「これでばっちり！NPO法人の会計監査」 紹介記事
3月14日	河北新報朝刊 NPOのための会計・税務講座 「これでばっちり！NPO法人の会計監査」 紹介記事
3月14日	河北新報夕刊 今こそ目指そう認定NPO法人講座 紹介記事
3月21日	河北新報夕刊 税理士・公認会計士向け会計基準セミナー 紹介記事